

アカデミックライティング I 補助教材

第 10 章 引用の仕方②「要約引用」

練習問題① 以下の文章から、要約引用がなされている箇所 (2カ所) に下線を引き、そこから読み取れるキーワードと書誌情報について書き出してみましょう。

ライティング・センターでは、書き手とチューターが一对一对面し、対話しながら文章を検討する。ライティング・センターにおける重要な目標は、「よりよい文章を作るのではなく、よりよい書き手を作る」(North1984、p. 438) というものである。つまり、「書かれた文章の最終的な出来栄よりも、書き手が一人になったときに自分の文章の問題点が診断でき、どのようにしたらよりよい文章になるのかの方策を立てられるようにすることを重要視」(佐渡島 2009、p. 12) し、「自立した書き手」の育成を目指すのである。

(太田裕子・佐渡島紗織「「自立した書き手」を育成するライティング・センターのチューター研修とチューターの意識—早稲田大学における実践事例と PAC 分析—」『Waseda Global Forum』第 9 号、2012 年、p. 238)

- ① キーフレーズ ()
書誌情報 著者名 () 出版年 () ページ数 ()
- ② キーフレーズ ()
書誌情報 著者名 () 出版年 () ページ数 ()
-

練習問題②

以下の文章の誤り (9カ所) を二本線で消して適切な文章に変えてみましょう。

早稲田大学の太田先生と佐渡島先生のご研究によれば、アメリカの教養大学では一般的に上級生のチューターが下級生の文章を見るのに対して、『日本のライティング・センターでは、教員、大学院生がチューターを勤める場合が多い』(太田氏・佐渡島氏 2012 年、pp. 239) 点が日米の大学におけるライティングセンターの特徴として指摘されている。

.....

練習問題② 以下、A と B の 2つの研究論文の文章を使って要約引用をしてみましょう。

ポイント：ライティングセンターの誕生とその世界的広がりの中で、日本のライティングセンターに見られる傾向と特徴がどのような点であることを示したい。

